

# C型慢性肝炎

54-5 消化器科・肝胆膵内科（教授）土島 睦

## 1. 日本の感染者は 100 万人～150 万人

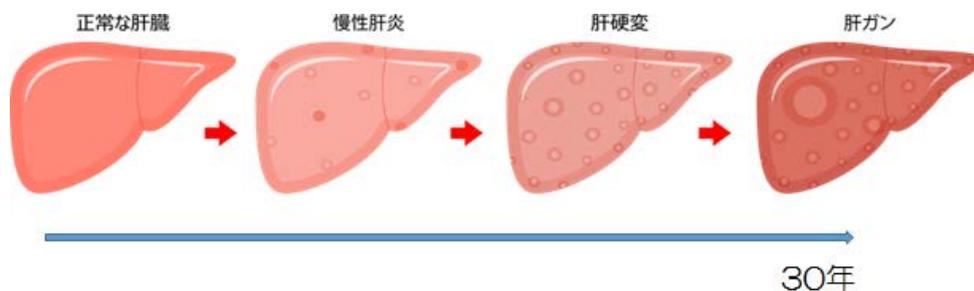
C 型肝炎は、感染している人の血液や体液を介して C 型肝炎ウイルスに感染することにより起こる肝臓の病気です。日本の感染者は 100 万人～150 万人（2011 年時点）と推定され、その多くは 60 歳以上で 100 人のうち 3 人が感染者です。しかし近年の新規感染者は若年者が多く、覚せい剤等の注射の回し打ちや入れ墨（タトゥー）やピアス等の針の使いまわしによるものと推測されています。

### C型肝炎ウイルス感染の危険のある方

- 輸血
- 手術の既往
- 長期間にわたる血液透析
- 出血を伴う民間療法
- 適切に消毒をしていない器具での入れ墨、ピアスの穴あけ
- 覚せい剤、麻薬の注射

## 2. 感染後の経過

C 型肝炎ウイルスに感染すると約 70%の方が持続感染となり、慢性肝炎を発症します。その後、およそ 20 年で約 30～40%の人が肝硬変となり、そのうち年率約 7%の方が肝がんへと進行します。慢性肝炎、肝硬変、肝がんと進行しますが、自覚症状がないことも多く、感染していることを知らない方や知っていても医療機関に受診されていない方が多いのが現状です。わが国の肝がん患者の約 70%は C 型肝炎ウイルス感染者であり、年間 3 万人（男性：2 万人、女性：1 万）の方が肝がんにより亡くなっています。



### 3. 症状と血液検査

肝炎には痛みなどの自覚症状がないため、肝臓に異常があっても気付かず、異常に気付いたときには病気がかなり進んでいることがあります。よって肝機能検査を受けることが大切です。

血液検査では肝臓の細胞が壊れたときに血液中にでてくる AST(GOT)、ALT(GPT)が高くなりますが、C 型慢性肝炎かどうかは C 型肝炎ウイルスに感染しているかどうかの検査が必要です。過去に輸血をしたことがある、医療機関で手術をしたことがある、家族に肝臓の悪い人がいるときは必ず検査を行ってください。

肝炎ウイルス検査は市町村の健康診断での肝炎ウイルス検診(40 歳以上)、保険所での特定感染症検査、指定医療機関での緊急肝炎ウイルス検査などで行うことができます。もし肝炎ウイルス検査で陽性と判定されたら肝臓専門医療機関へ受診をしてください。

### 4. 画像検査と肝生検

画像検査には放射線被ばくがなく、簡単に実施できる超音波検査、検査時間が短く、肝臓全体をみることができ CT 検査、検査時間が長い、組織の特性を知ることができる MRI 検査があり、それぞれ肝臓の病気の進展と肝がんの有無をみることができます。慢性肝炎の方は年 1 回以上画像検査が必要です。

肝生検は肝臓の組織を一部とって顕微鏡でみる検査です。現在の肝臓の病態（肝炎の活動度、病期）を正確に知ることができます。

### 5. 治療

2014 年から抗ウイルス薬が続々と登場してきています。これによりウイルスはほぼ消すことができるようになりました。治療に係る医療費助成の手続きを行うと市町村税課税年額によって自己負担限度額が 1 万円または 2 万円で治療ができるようになります。ご不明な点は当病院ソーシャルワーカーまでお気軽にお問合せください。

遺伝子型 1b 治療薬 (飲み薬)	治療効果	臓器への影響	治療期間	薬剤費の総額
ダクルインザ錠 スンベプラカプセル ダクラタスビル+アスナプレビル	85%	肝機能異常(20%)	24週	228万円
ハーボニー錠 ソフォスビル+レディパスビル	100%	腎臓病・循環器系 疾患は要注意	12週	460万円
ヴィキラックス錠 パリタプレビル+リトナビル +オムピタスビル	95%	併用薬剤に注意 日本ではないが FDA(米国食品医療 品局)で肝障害の警告	12週	193万円